

# クリニカルパスの 普及・体制の現状と課題

～第11回（H23年）アンケート結果から～

日本クリニカルパス学会

# 調査目的

- クリニカルパスの日本における現状と動向を把握する
- 現場が求めている情報、支援を理解し、今後の学会としての活動に示唆を得る

# 調査方法

## <対象>

- \* 日本クリニカルパス学会の法人会員

・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 4 0 5 施設

- \* 2 0 0 床以上の全国の一般病院

(法人会員施設・精神科病院・老人病院を除く)

・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 1 , 0 1 4 施設

---

計 1 , 4 1 9 施設

2 0 1 1年10月にアンケート用紙を配布した

# 調査結果

## \*回収数・有効回答数

1,419病院中 522件

(回収率・有効回答率 36.8%)

第 1回～第7回調査の回収率 20.5～31.5%

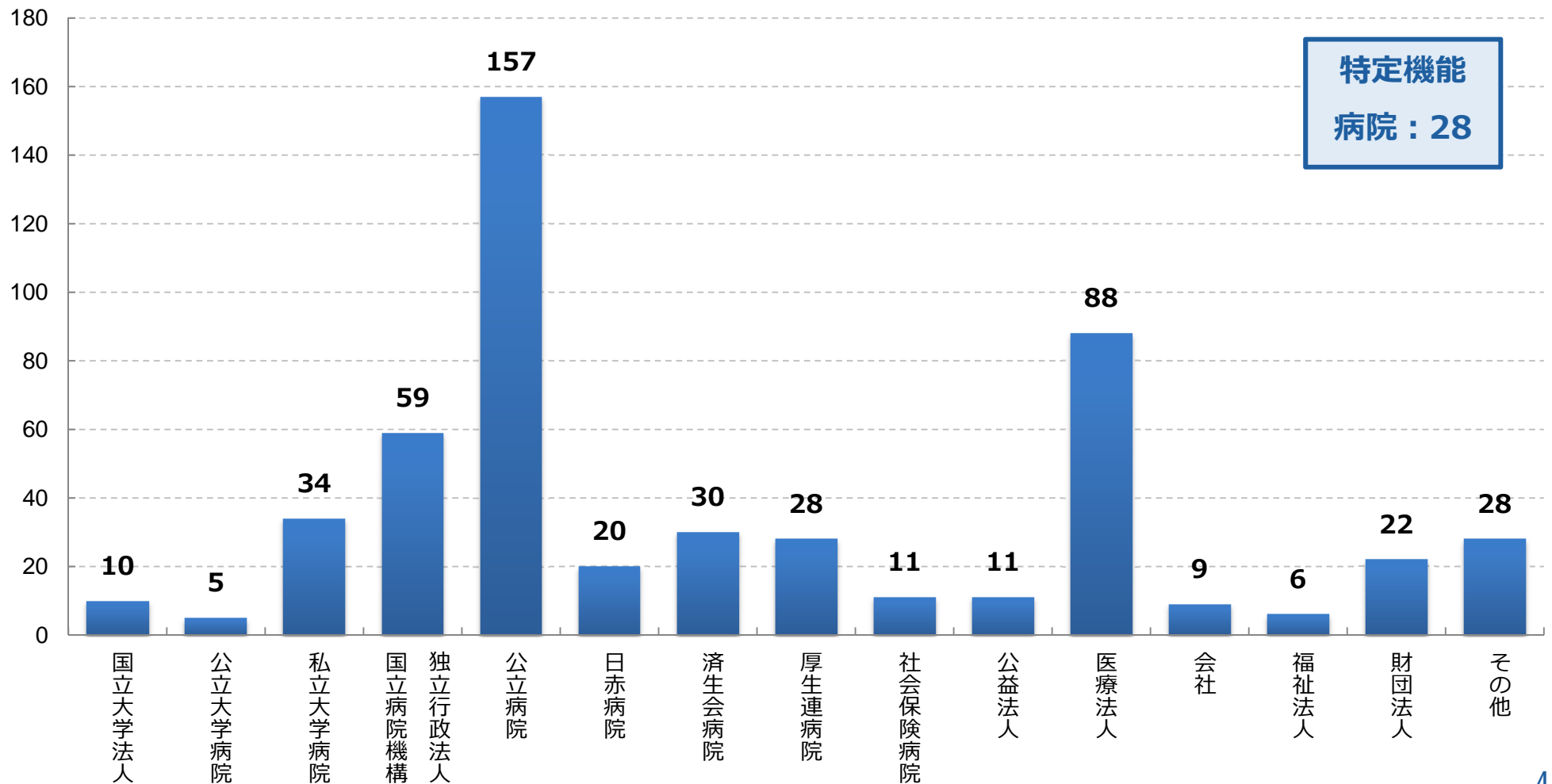
第 8回調査の回収率 39.7%

第 9回調査の回収率 30.6%

第10回調査の回収率 39.5%

# 経営主体分類

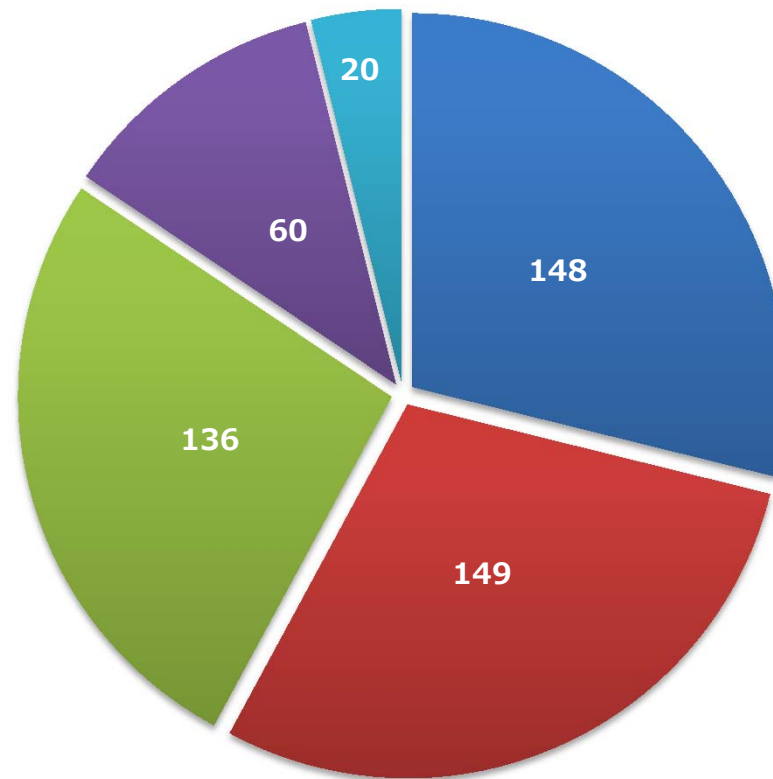
設問：Q I -1 経営主体分類 ( n = 518 )



# 許可病床数

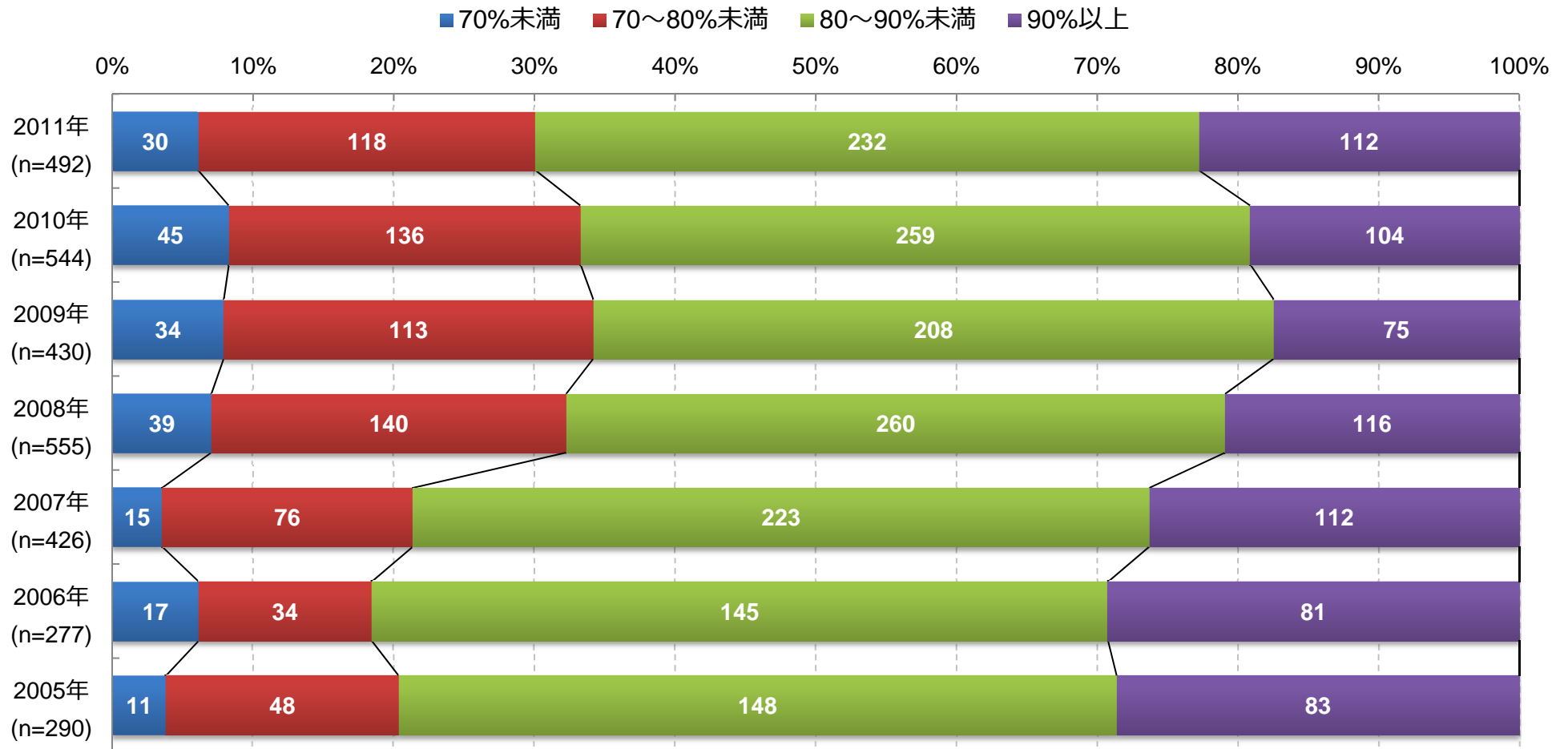
設問：Q I -3-1 診療実績：許可病床数 ( n = 513 )

■ 300床以下 ■ 301-400床 ■ 401-600床 ■ 601-1000床 ■ 1001床以上



# 病床利用率

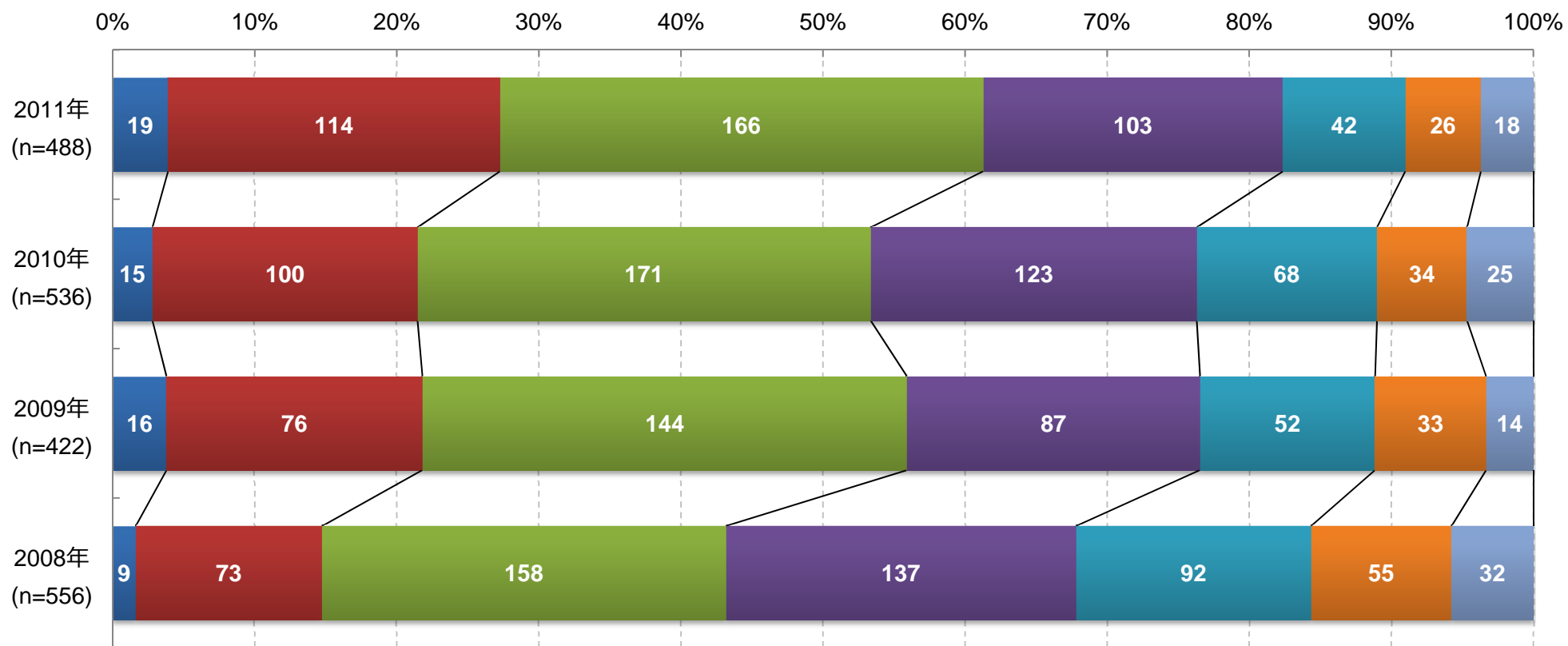
設問：Q I -3-2 診療実績：平成22年度の一般病棟の病床利用率



# 平均在院日数

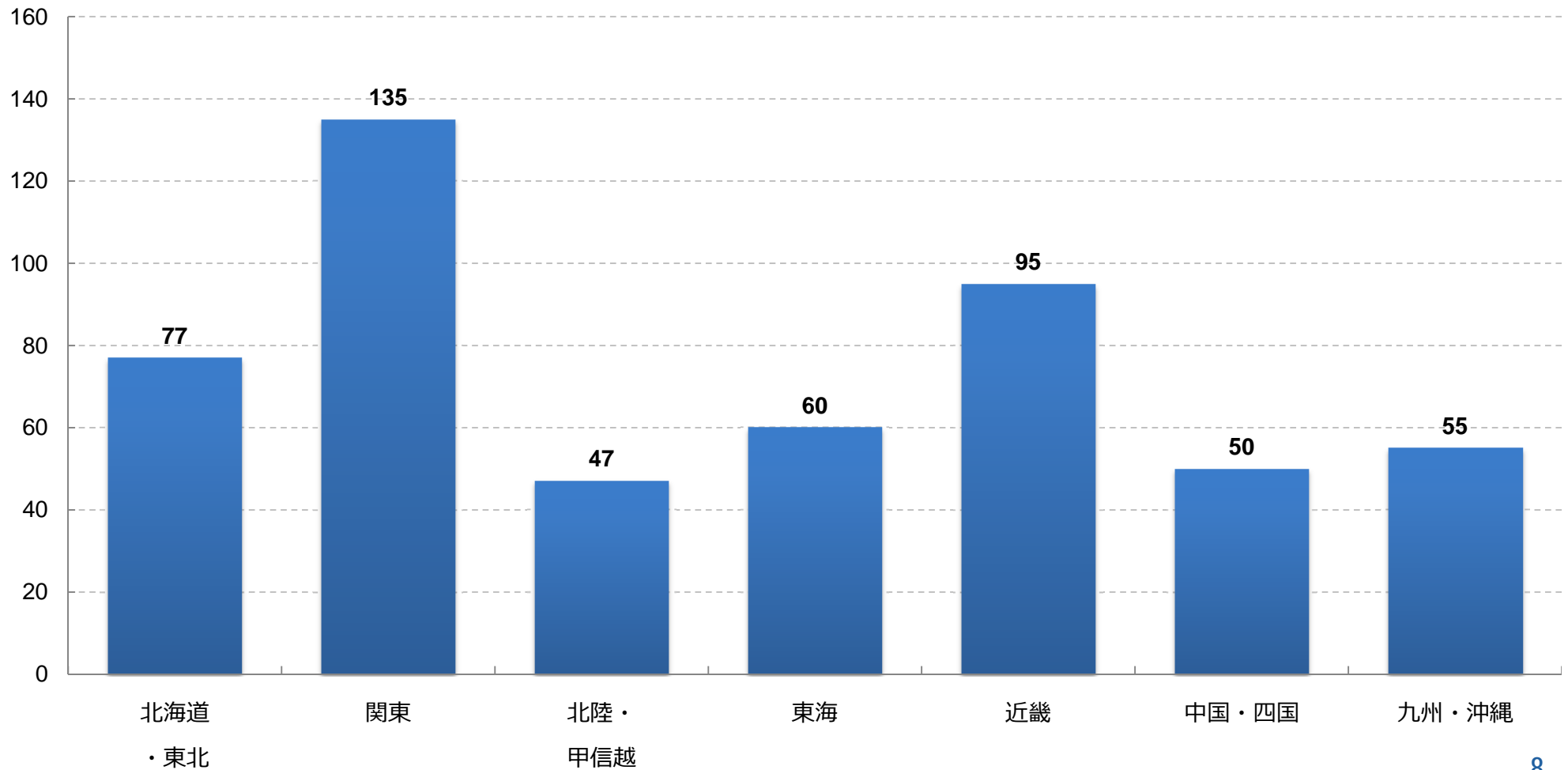
設問：Q I -3-3 診療実績：平成22年度の一般病床の平均在院日数

■ 11日未満 ■ 11～13日 ■ 13～15日 ■ 15～17日 ■ 17～19日 ■ 19～21日 ■ 21日以上



# 回答病院所在地

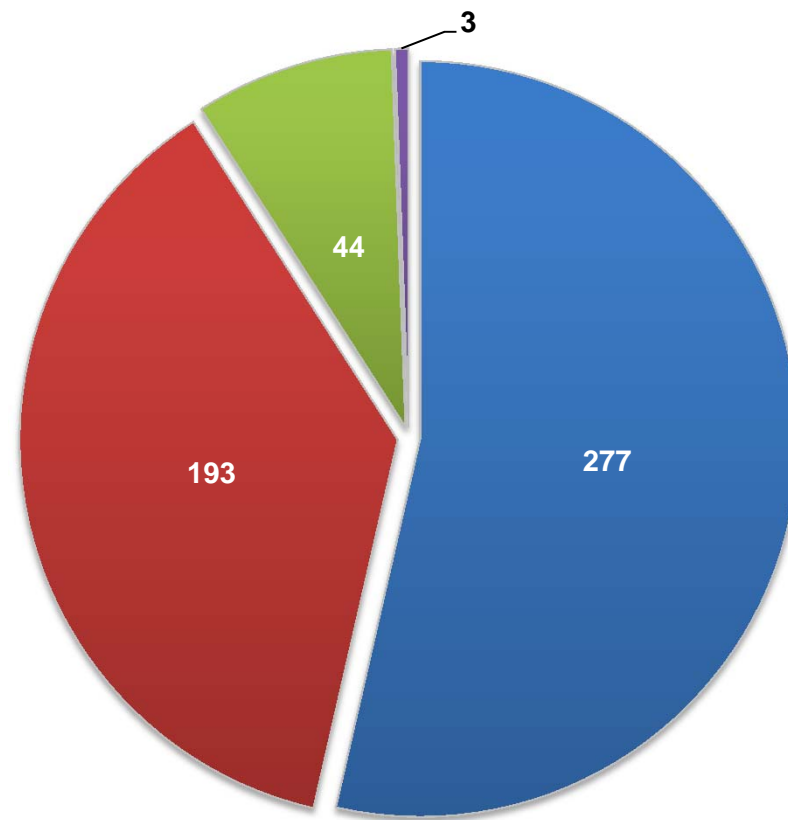
設問：Q I -3-4 診療実績：病院所在地(地域) ( n = 520 )



# 電子カルテの動向

設問：Q I -4 電子カルテ・オーダーリングシステムの導入状況 ( n = 517 )

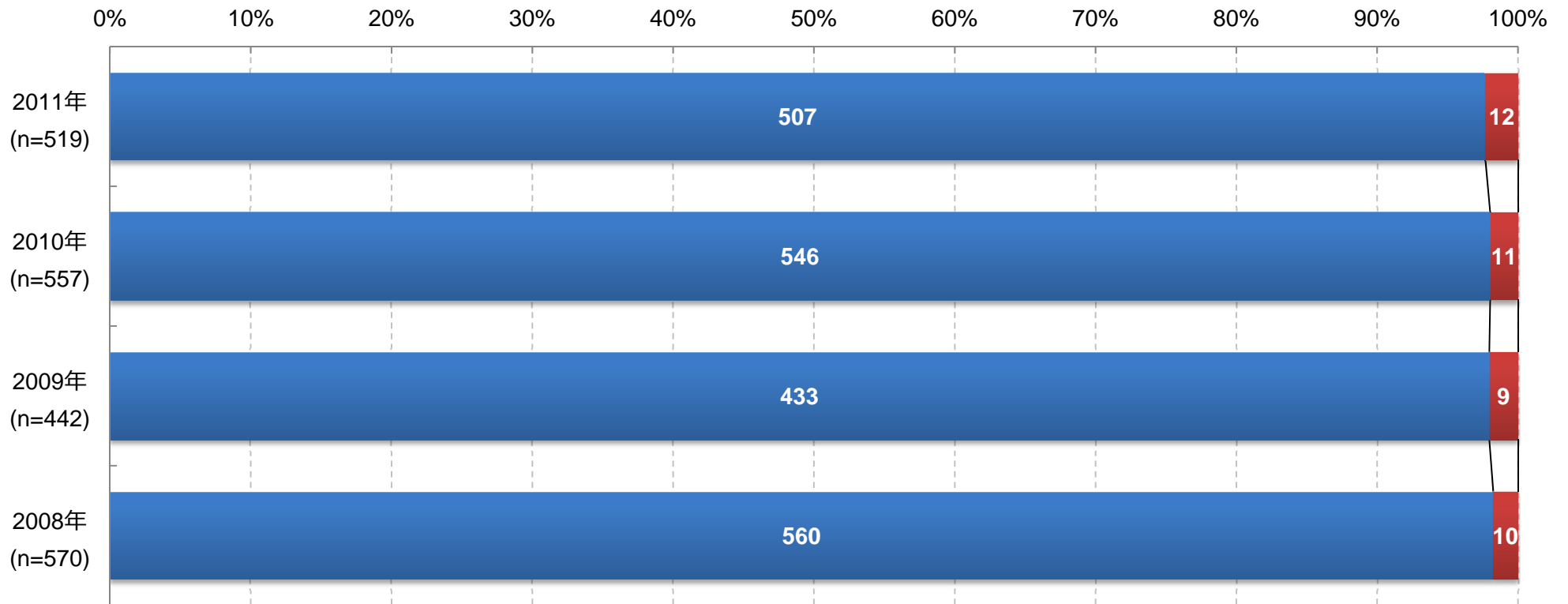
■ 電子カルテ ■ オーダリングシステム ■ いいえ ■ その他



# パスの使用状況

設問：QII-1 クリニカルパスを作成・使用しているか

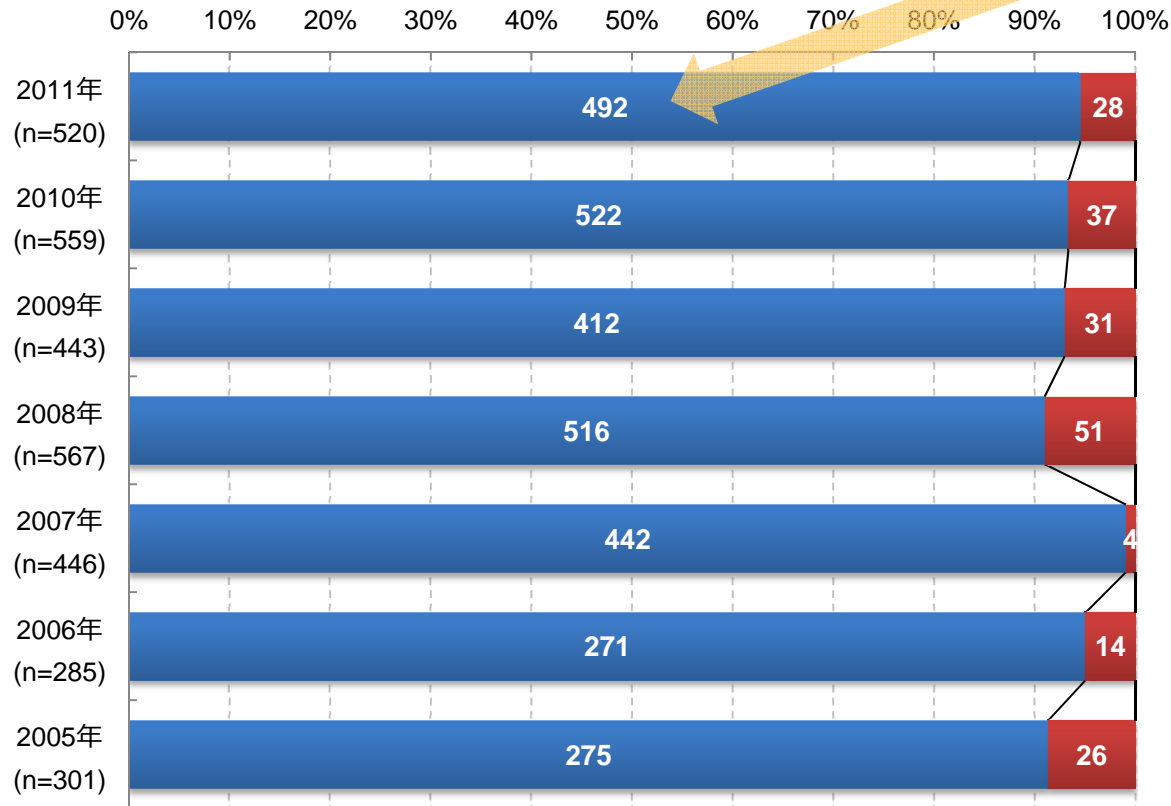
■はい ■いいえ



# パス委員会の状況

設問：QⅡ-2 クリニカルパス委員会があるか

■ はい ■ いいえ



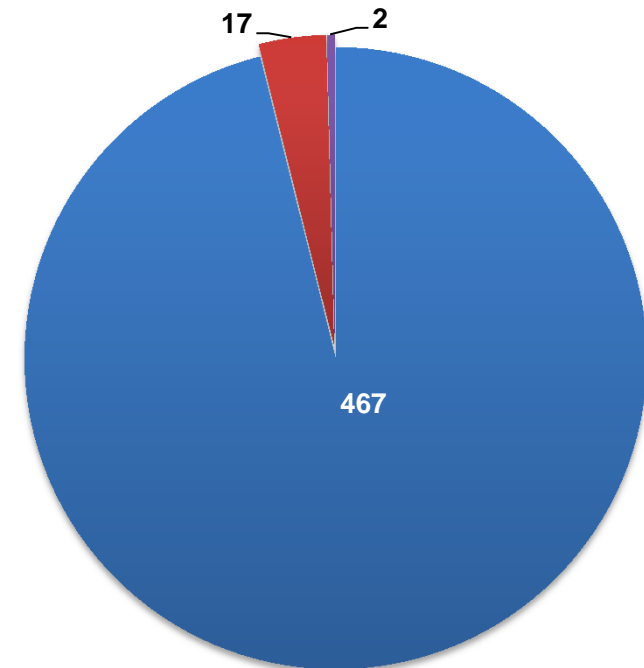
設問：QⅡ-2-1 クリニカルパス

委員会のある病院：

クリニカルパス委員会の

委員長の職種 ( n = 486 )

■ 医師 ■ 看護師 ■ 薬剤師 ■ その他

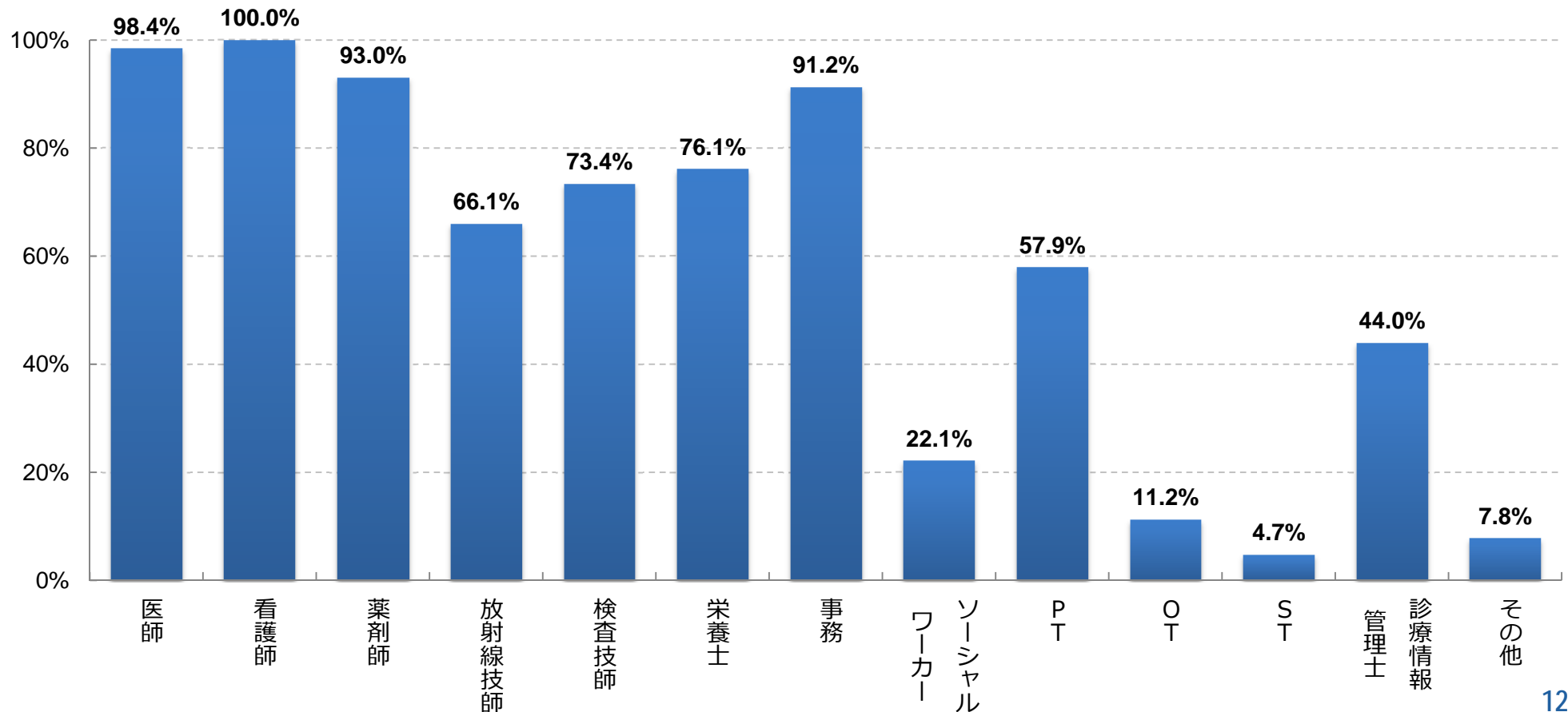


# パス委員会メンバーの構成

複数回答

設問：QII-2-2 クリニカルパス委員会のある病院：クリニカルパス委員会の構成メンバー

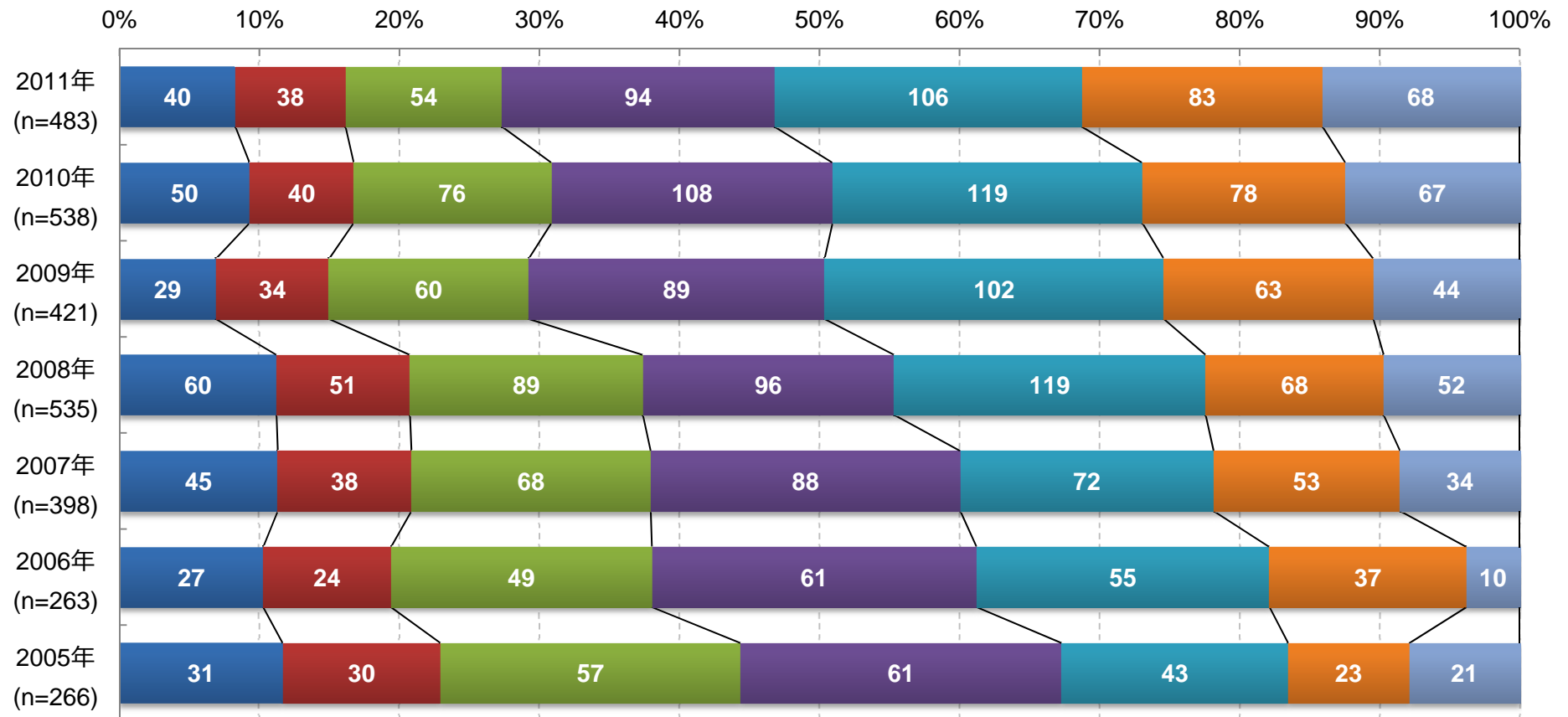
( n = 489 )



# パス使用率の動向

設問：QⅡ-3 入院患者に対してのパスの使用率

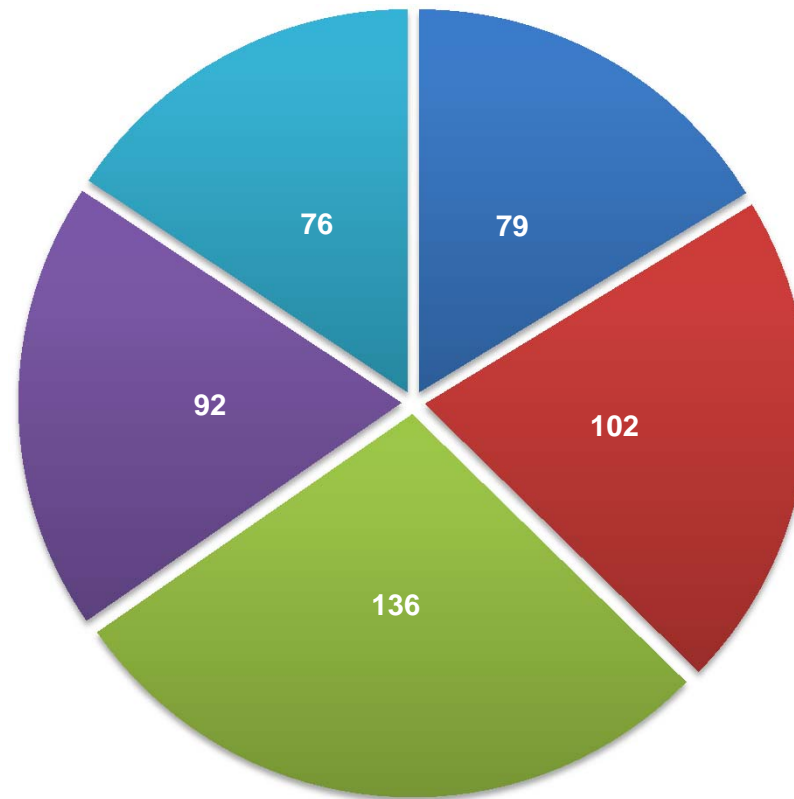
■ 5%以下 ■ 5~10% ■ 10~20% ■ 20~30% ■ 30~40% ■ 40~50% ■ 50%以上



# パス使用種類数

設問：QⅡ-4 使用しているパスの種類数 ( n = 485 )

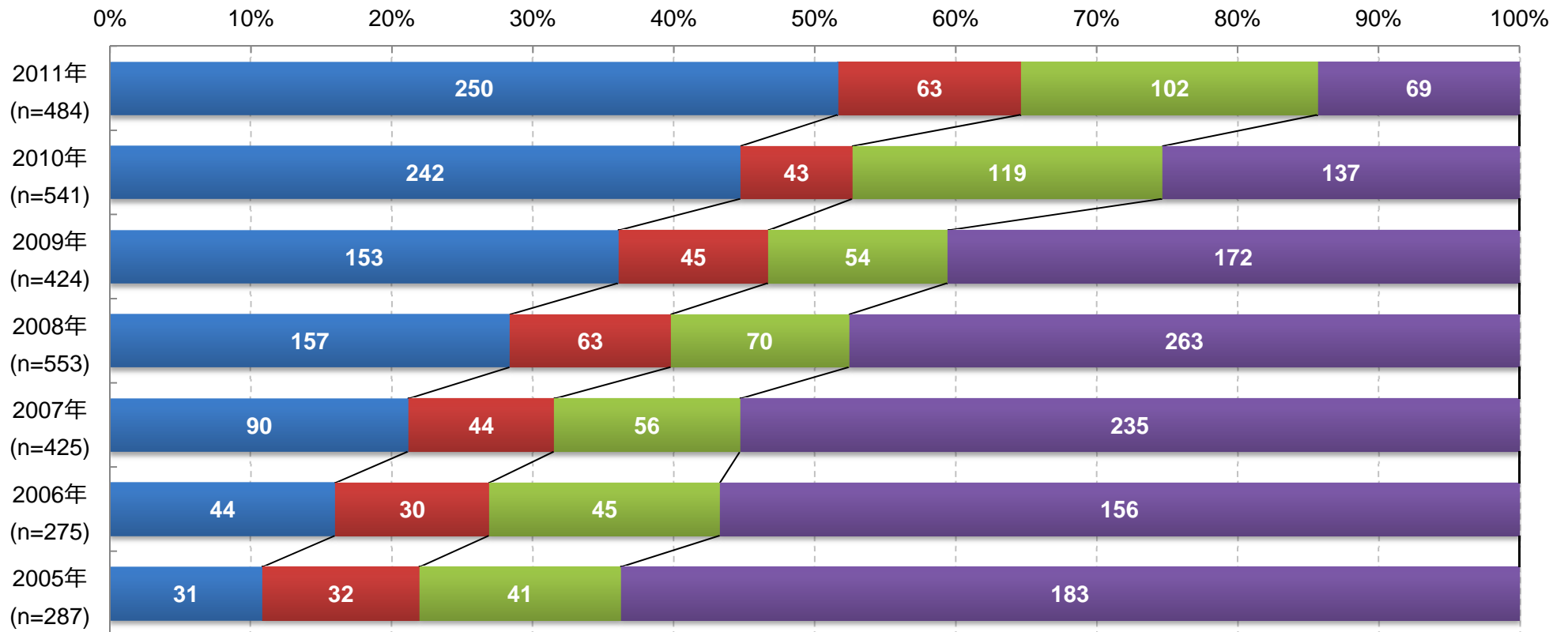
■ 20種類以下 ■ 21～50種類 ■ 51～100種類 ■ 101～150種類 ■ 151種類以上



# パスの電子化

設問：QII-5 パスを電子カルテ化し使用しているか

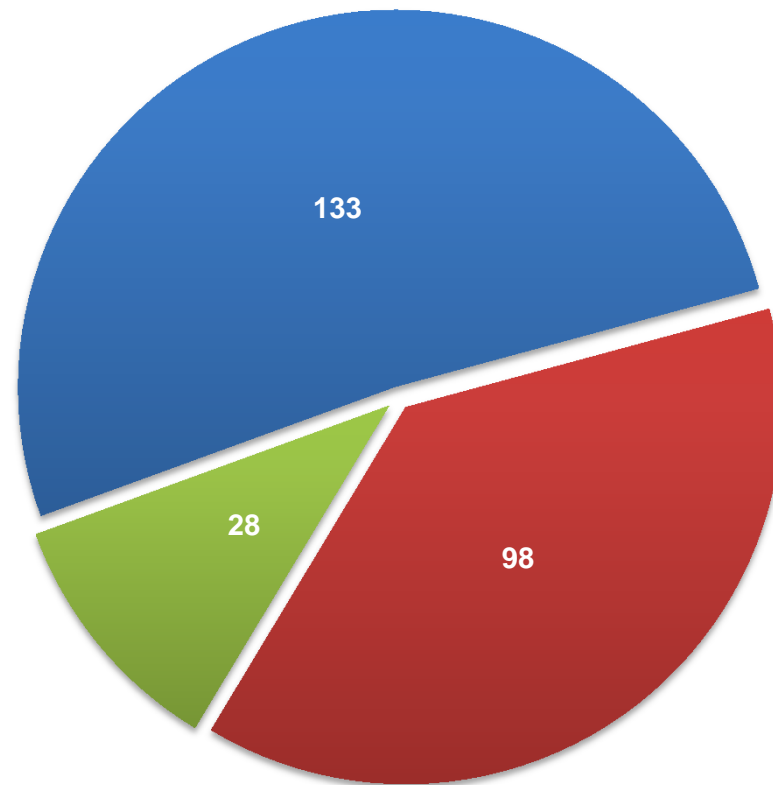
■ 使用している ■ 使用予定 ■ 検討中 ■ していない



# パスの電子化率

設問：QⅡ-6 パスはどれくらい電子化しているか ( n = 259 )

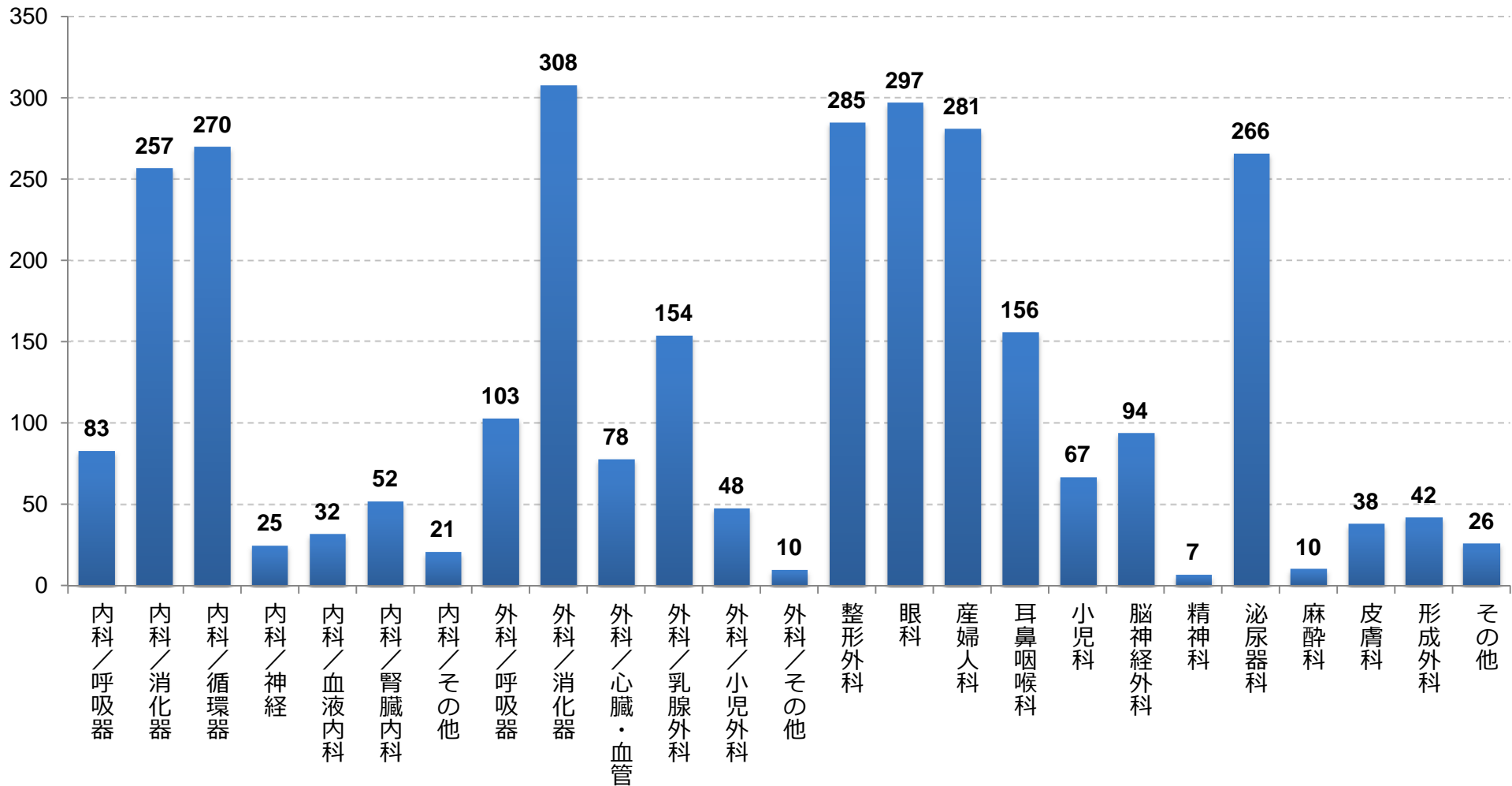
■ すべて電子化パス ■ 一部は電子化パス ■ パスは紙



# パスを多く使用している診療科

複数回答

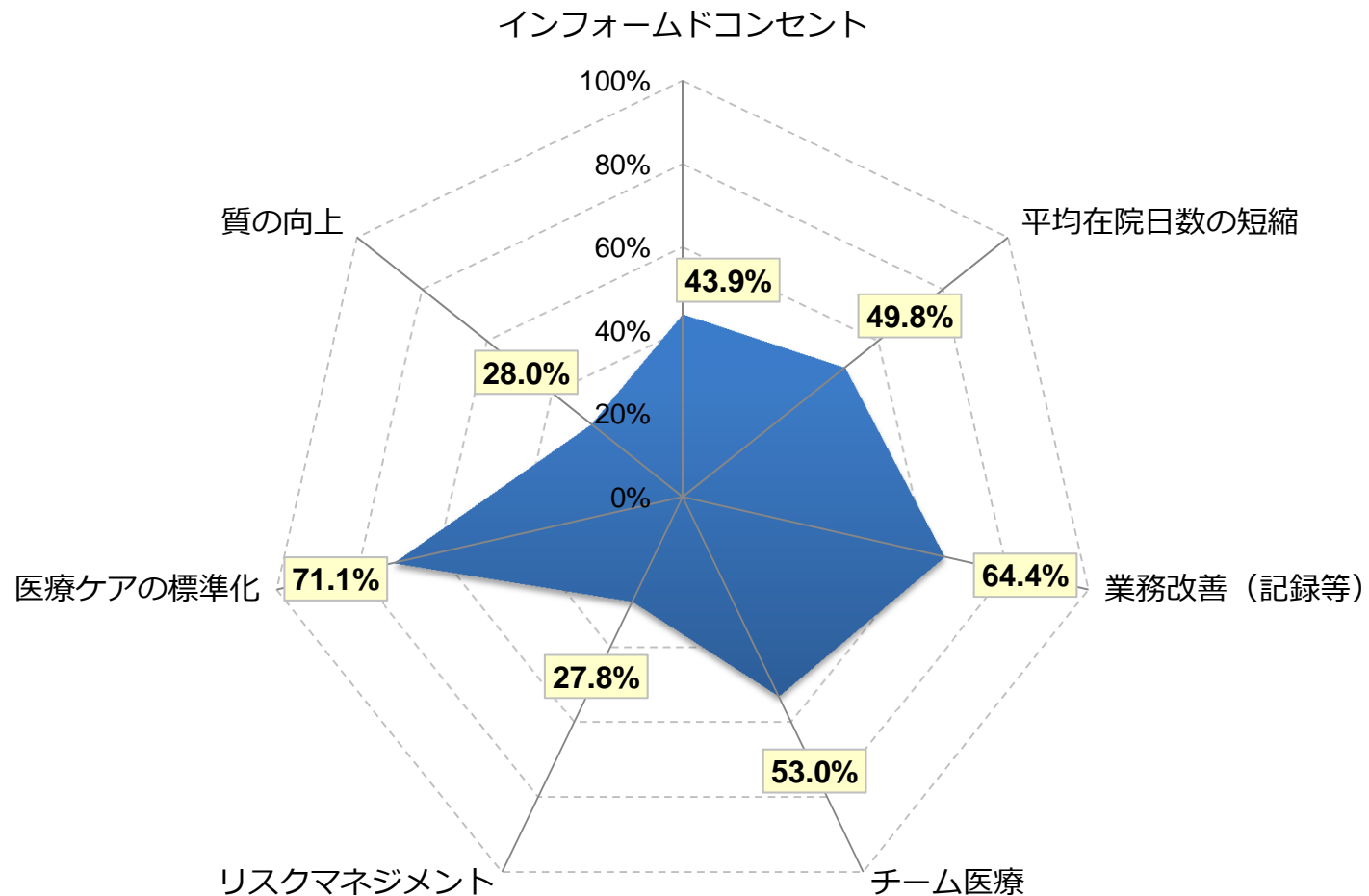
設問：QⅡ-7-1 パスを多く使用の病棟・診療科：積極的導入の診療科（n = 504）



# パスで達成されたこと

複数回答

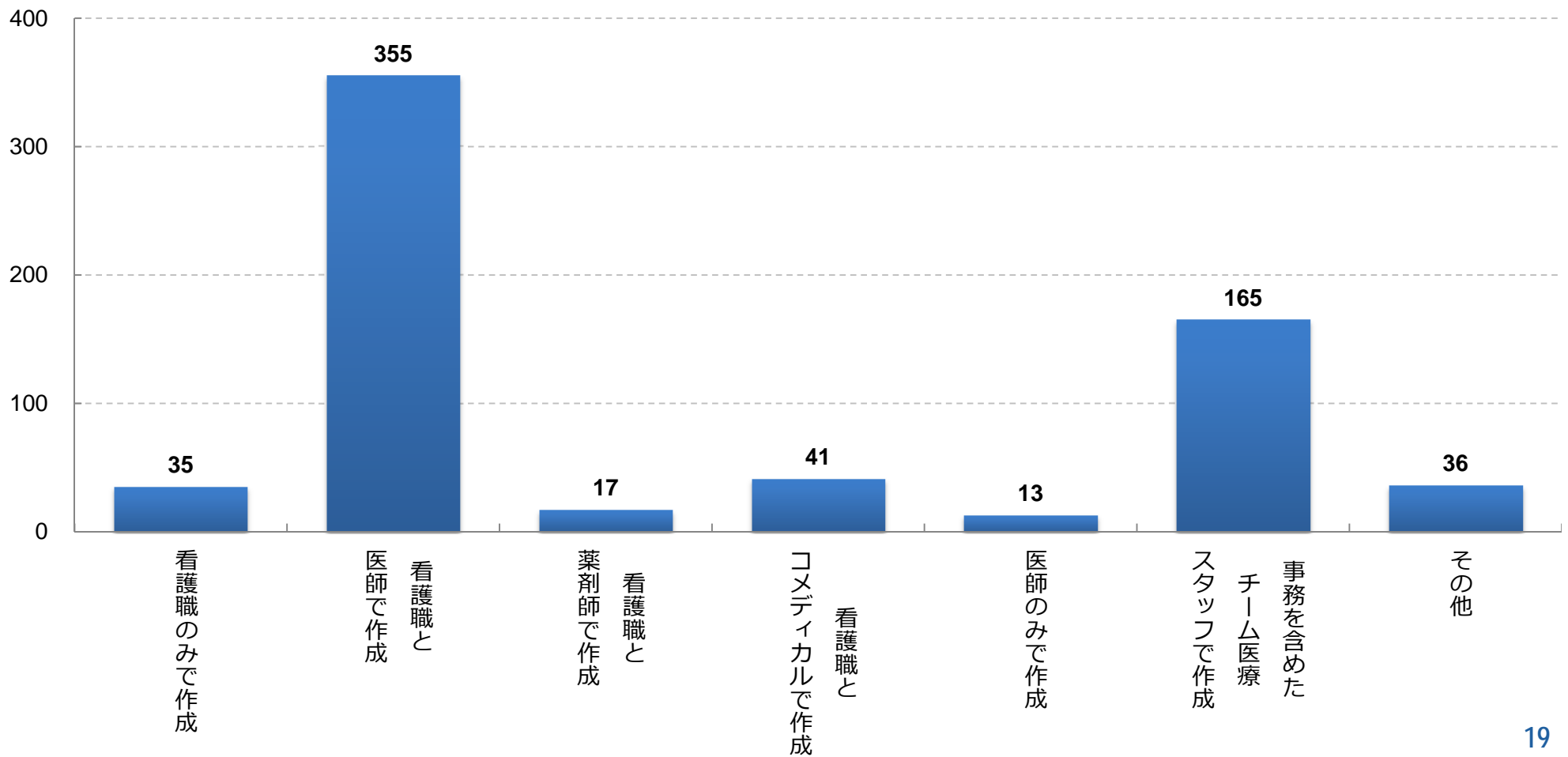
設問：QⅡ-7-3 パスを多く使用の病棟・診療科：パスを導入して達成したこと（n = 492）



# パスの作成方法

複数回答

設問：QⅡ-7-4 パスを多く使用の病棟・診療科：パスの作成方法（n = 504）

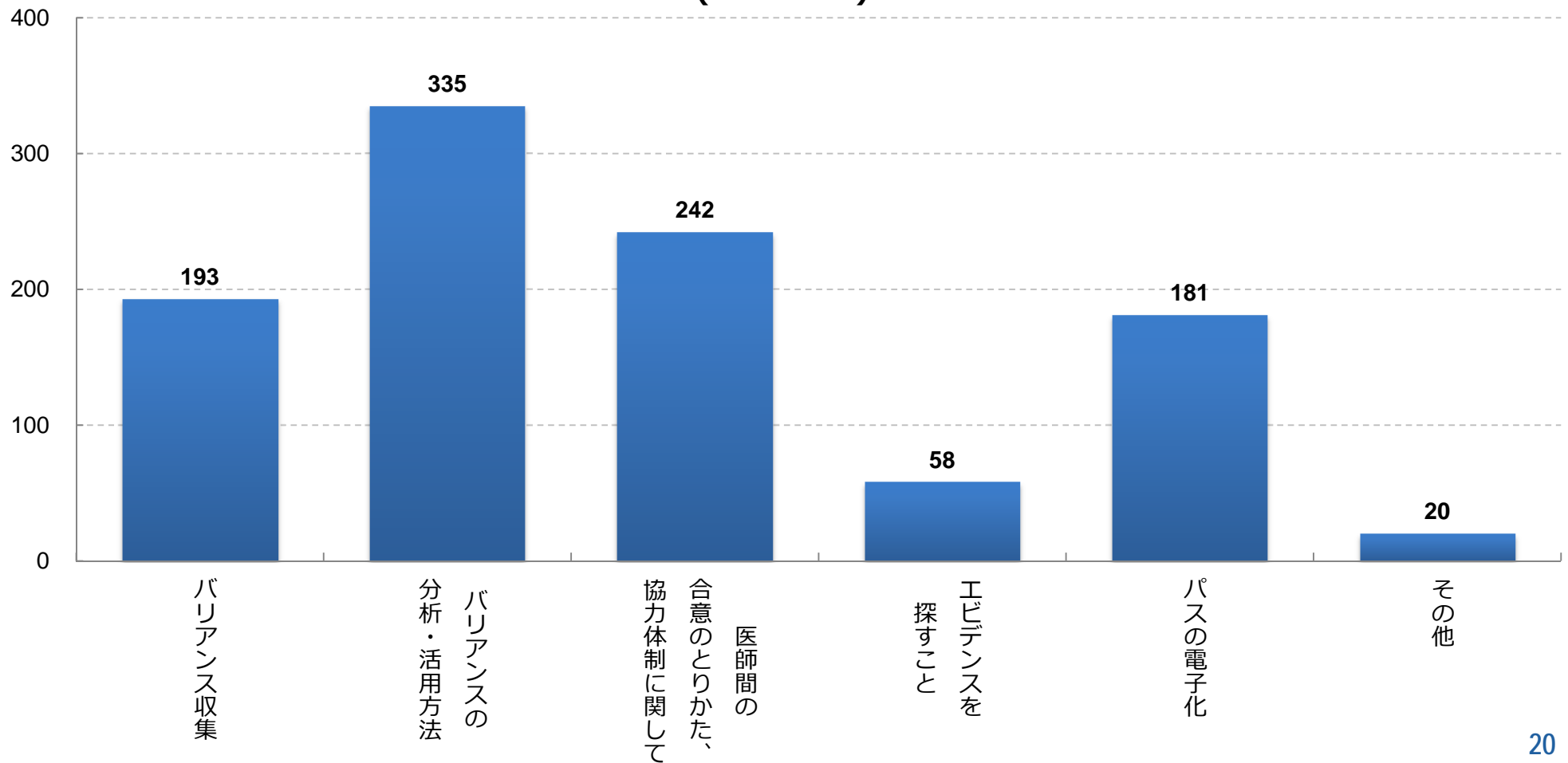


# パスが進んでいる診療科で パスの運用に関して困ったことや課題

複数回答

設問：QII-7-5 パスを多く使用の病棟・診療科：現在パス運用に関しての困った点や課題等

( n = 493 )

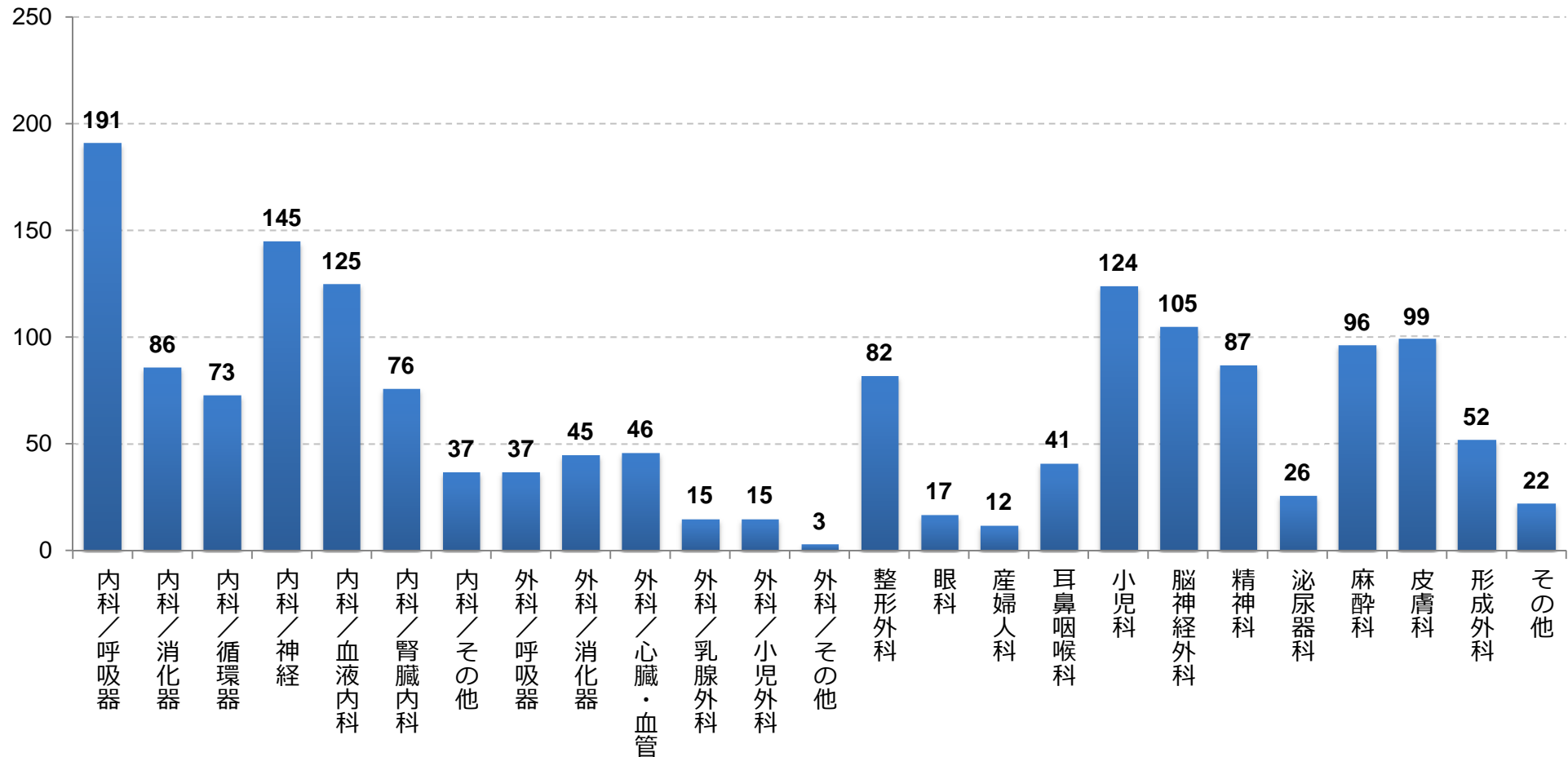


# パスが進んでいない診療科

複数回答

設問：QII-8-1 パス導入があまり進んでいない病棟・診療科：

導入があまり進んでいない診療科 ( n = 470 )

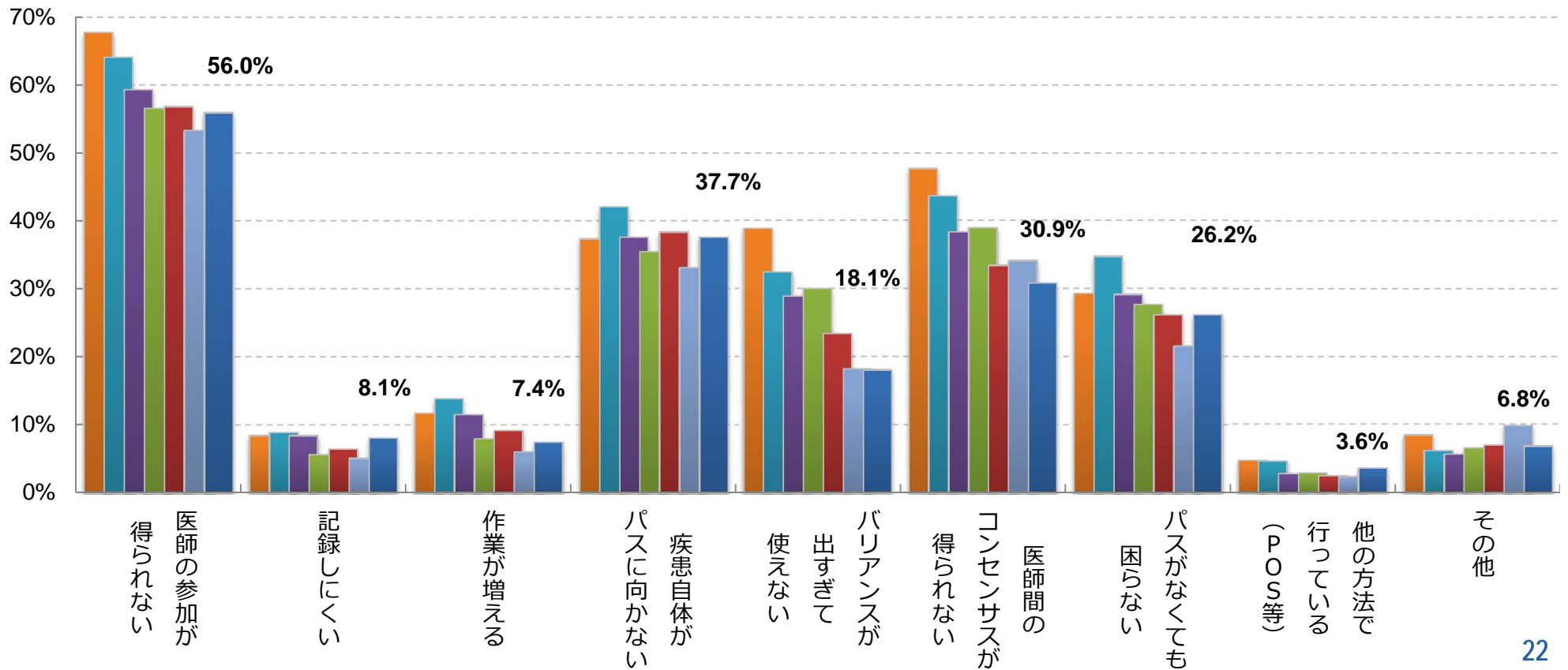


# 導入が進まない理由

複数回答

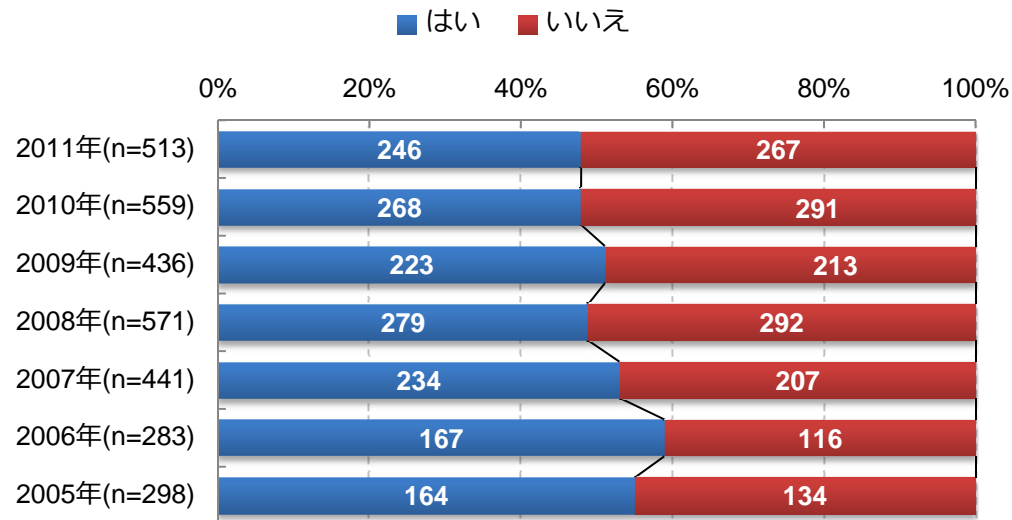
設問：QII-8-2 パス導入があまり進んでいない病棟・診療科：パス導入が進んでいない理由

■ 2005年 (n=273)  
 ■ 2006年 (n=259)  
 ■ 2007年 (n=391)  
 ■ 2008年 (n=516)  
 ■ 2009年 (n=401)  
 ■ 2010年 (n=510)  
 ■ 2011年 (n=470)

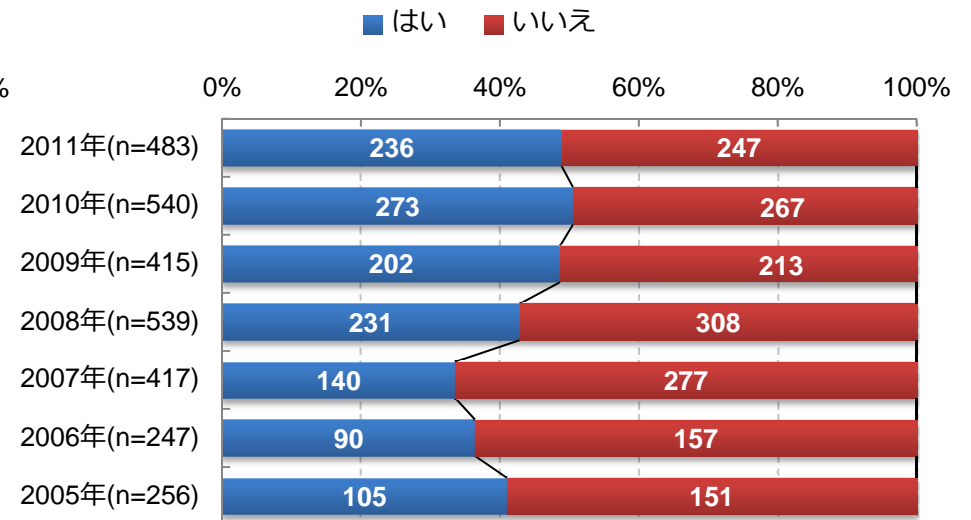


# パス大会・地域研究会の開催状況

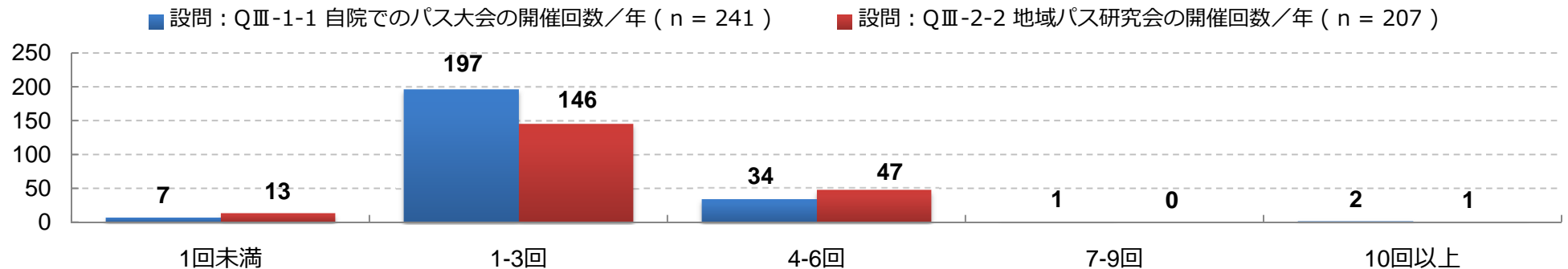
設問：QⅢ-1 自院でパス大会の開催の有無



設問：QⅢ-2 地域にパスの研究会の有無



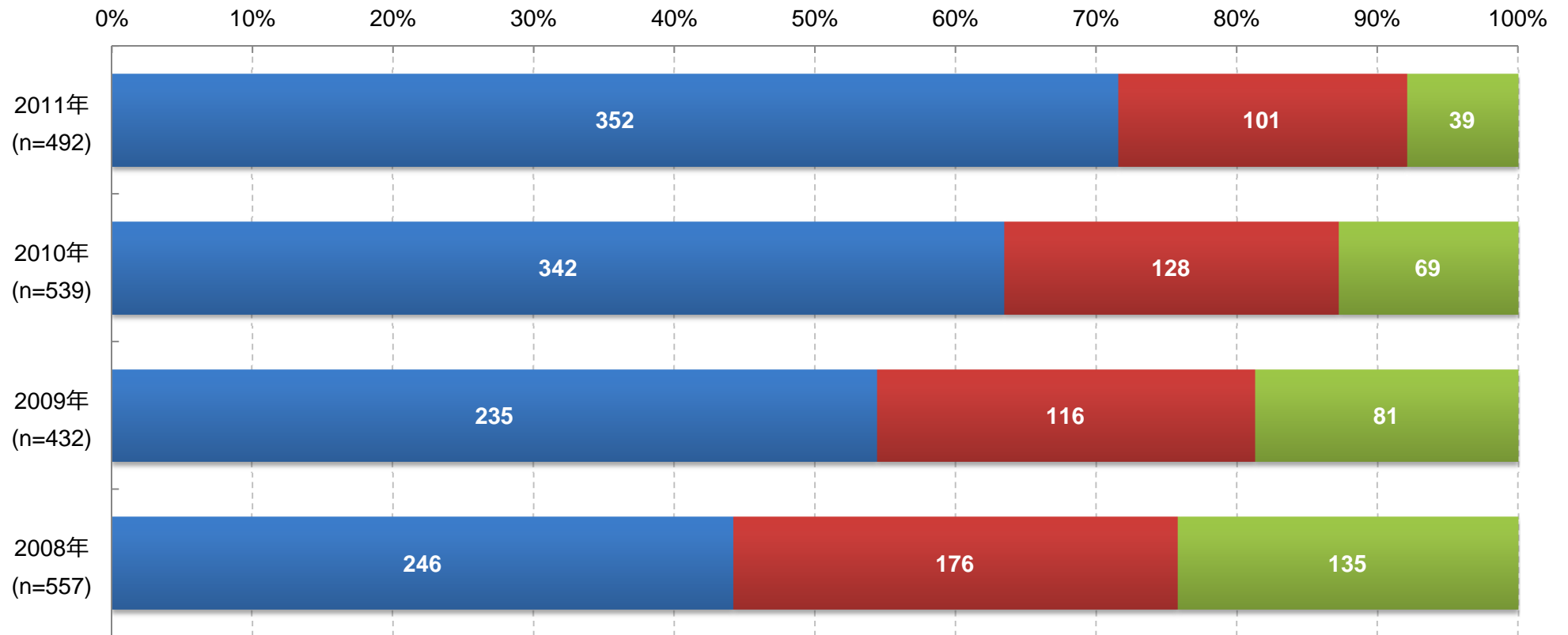
QⅢ-1-1 (QⅢ-2-2) 自院でのパス大会 (地域パス研究会) の開催回数/年



# 地域連携パス活用状況

設問：QⅢ-3 地域連携パスを作成・活用の有無

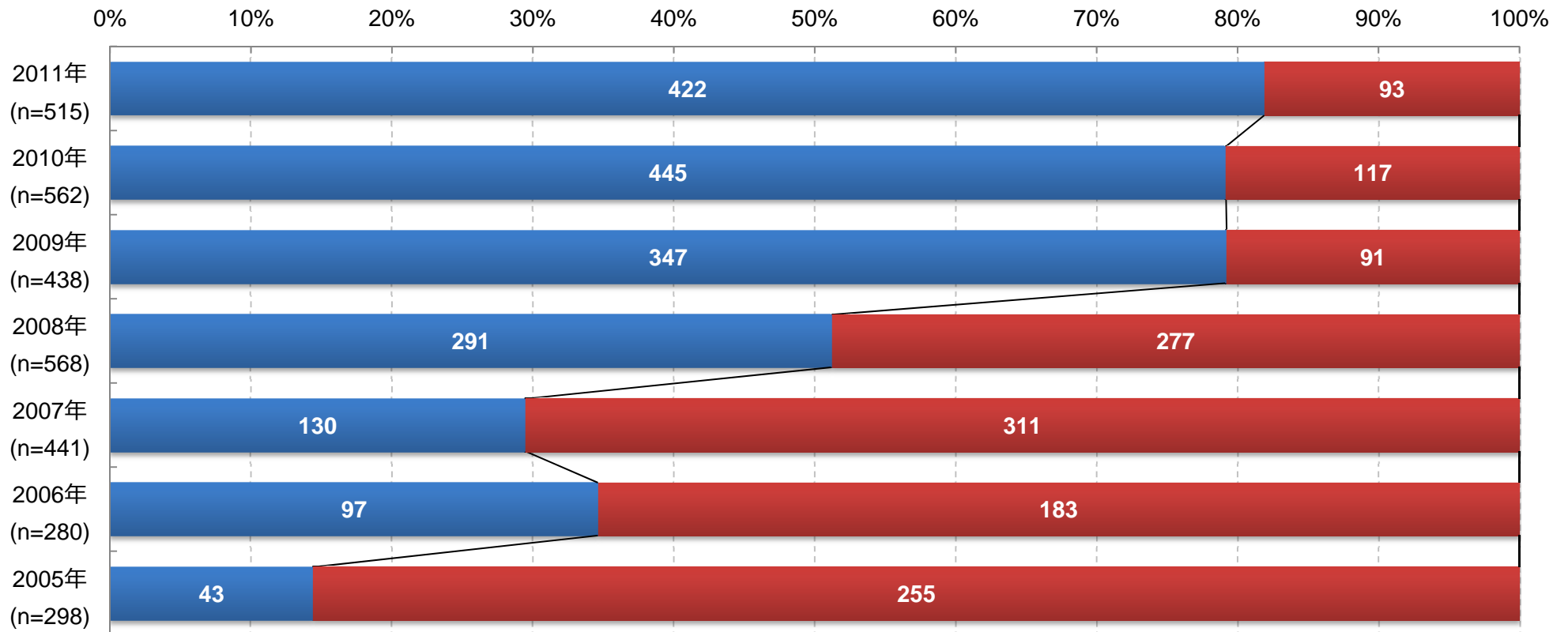
■ はい ■ いいえ ■ 準備中



# DPCの施行状況

設問：QIV-1 現在DPCを施行しているか

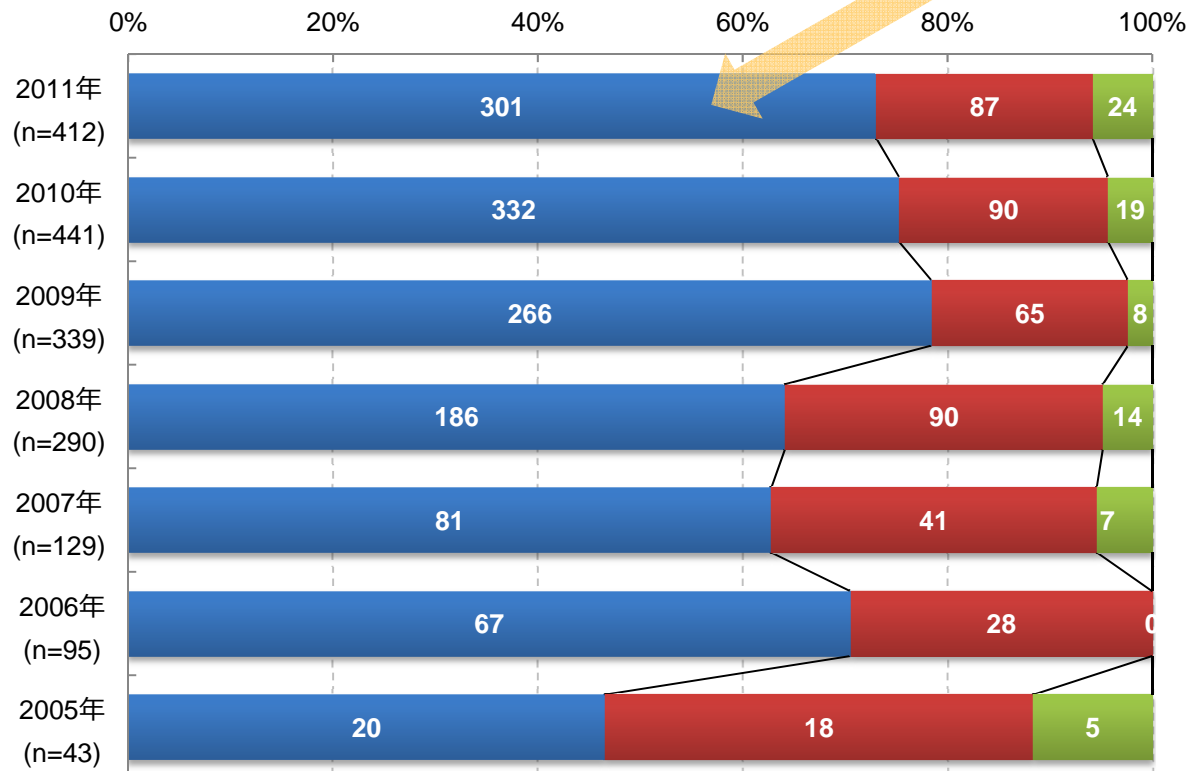
■ はい ■ いいえ



# DPCに向けてのパスの見直しと変更内容

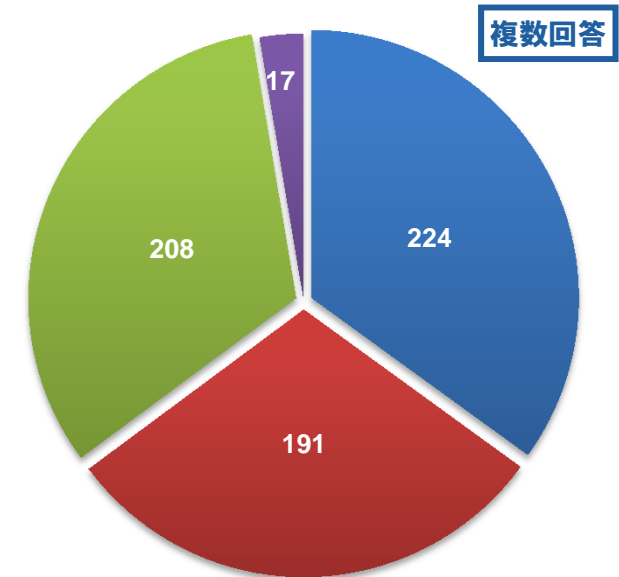
設問：QIV-1-1 DPCを施行している病院：  
DPCに向けてパスの見直しをされましたか

■見直しをした ■見直しはしていない ■不明



設問：QIV-1-1-2 DPCに向けて  
パスの見直した病院：  
見直しされた場合、  
変更された内容は ( n = 283 )

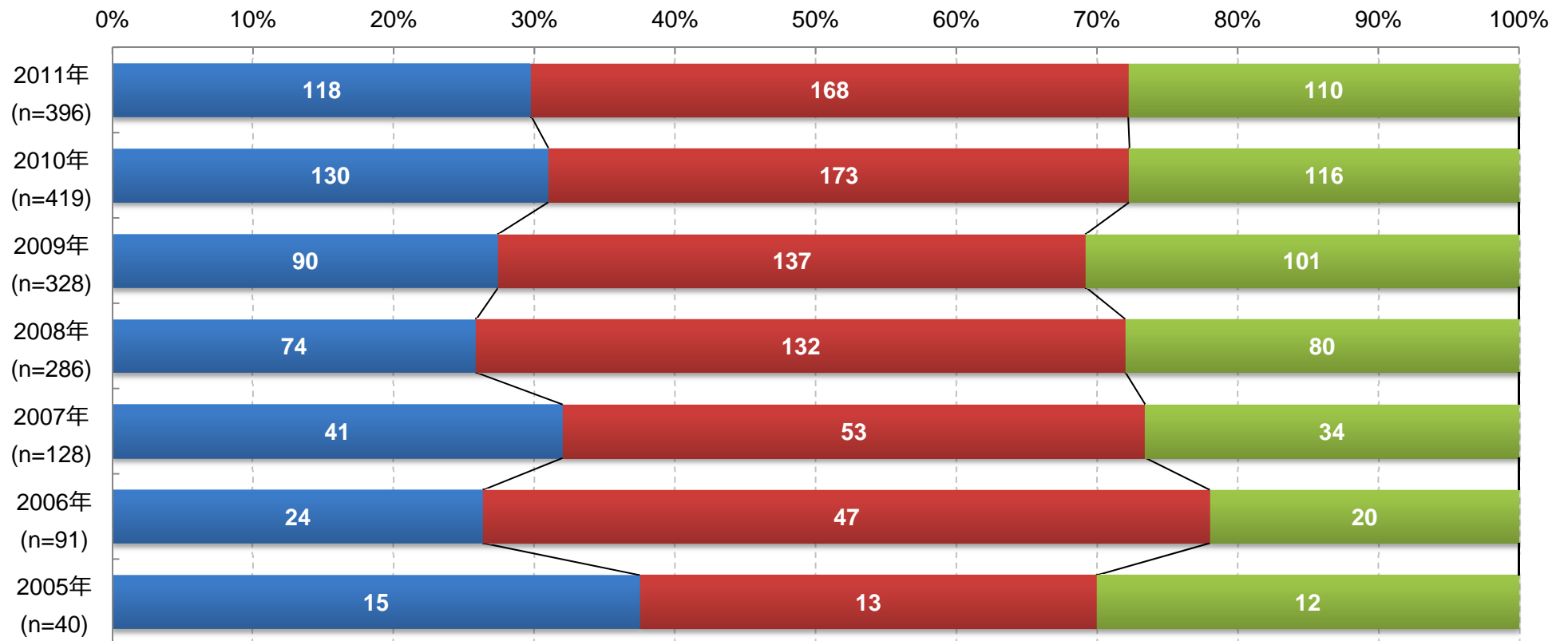
■入院期間 ■薬剤のジェネリックへの変更 ■検査 ■その他



# DPCとパスの使用数

設問：QIV-1-2 DPCを施行している病院：DPCの施行でパスの使用数は増えましたか

■ 増えた ■ 増えていない ■ 不明



# まとめ ①

## 1. アンケート回収率

約37%であり、昨年（39.5%）よりも約3%減少した。

## 2. 入院患者に対するパスの利用

入院患者の3割以上にパスを利用している施設が、今年度初めて過半数を超えた。

## 3. パスの電子化を行なっている施設割合

パスの電子化を行なっている施設が、今年度初めて過半数を超えた。

## 4. パスの導入によって達成されたこと

例年同様、「医療ケアの標準化」と「業務改善」が多く、次いで「質の向上」、「リスクマネジメント」が多い。

## まとめ ②

### 5.パス導入が阻まれる理由

- ① バリアンスに関する項目は依然多いが、近年では減少傾向にある。これはパスが諸施設で積極的に活用されるようになったことから、その内容も徐々に使いやすいものに改訂されてきている事が理由かもしれない。
- ② 医師のパスに対するコンセンサスも徐々に高まっている。これは、DPCの進展に伴い医師のパスに対する理解が徐々に深まってきている事が理由かもしれない。

### 6.地域連携を用いる施設割合

地域連携パスを用いる施設は、年々増加傾向にあり、今年度初めて7割を超えた。

## まとめ ③

- \* これまで200床以上の病院を対象に調査してきたが、我が国の約70%が病床数200未満の施設であることを踏まえ、調査対象を再考したいと考える。
- \* パス使用率や電子率などパスの運用に関する項目に関し、パス学会会員施設と非会員施設の相違点などについて解析を行いたい。
- \* 既に8割以上の施設でDPCが導入されていることから、これまでの調査票におけるDPC導入前後の変化を問う設問は、今後、他の内容に振り替えてもよい時期かと思われる。
- \* チーム医療の進展を踏まえ、薬剤師、栄養士、検査技師など、医師、看護師以外の職種が、パスに対しどのような介入を行なっているかを新たに調査する価値はあると考える。